

2017年9月吉日

PRESS RELEASE



風が吹いてきたよ実行委員会
香川県小豆郡小豆島町片城甲29-18
Mail info@kazefuki.com

香川県・小豆島の農村歌舞伎舞台を活用した 地域発の音楽・食のイベント
「風が吹いてきたよ 小豆島・肥土山音楽祭」10月22日(日)開催



題字：平野甲賀 / illust：danny

小豆島・肥土山（ひとやま）地区にある農村歌舞伎舞台にて、音楽と食のイベント「風が吹いてきたよ 小豆島・肥土山音楽祭2017」を2017年10月22日(日)に開催いたします。

2015年に続き、第2回目となるこのイベントは、300年以上にもわたって地域で継承されてきた「肥土山農村歌舞伎」の会場にもなっている舞台を肥土山自治会からお借りし、島内の有志が中心となり企画から運営まで、開催のほとんどを島民が行います。出演者は、様々な映画やCM等の音楽もされている高木正勝さん、小豆島・坂手地区出身の国際的ジャズ・シンガー伊藤君子さん等、舞台と周辺に広がる里山の風景と親和性が高く、演奏力・技術力、またエンタテインメント性に優れたミュージシャン6組にお集まりいただきました。また、小豆島は、ここ数年UターンやIターンの方を中心に新しい店舗が続々オープンし、新たな活気が生まれています。また、オリーブや醤油、素麵をはじめ、野菜・魚介類等、小豆島は食材豊かな島です。それらの「小豆島の食」を多くの方に知っていただきたいという思いから、「小豆島の食」にも焦点を当てた、従来の興行型の音楽イベント・フェスティバルとは異なる地方発・農村型フェスティバル、それが「風が吹いてきたよ」です。

公式サイトURL：<http://www.kazefuki.com>

開催概要

日時 2017年10月22日(日) 開場9:30 開演10:30 終演16:30(予定)
会場 小豆島・肥土山農村歌舞伎舞台(国指定有形民俗文化財)
※雨天決行・荒天中止/雨天の場合は最寄り施設に変更の場合有

主催 風が吹いてきたよ実行委員会
助成 公益財団法人 福武財団、公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団、
私的録音補償金管理協会 (sarah)
後援 土庄町、小豆島町、土庄町教育委員会、小豆島町教育委員会、小豆島観光協会、
とのしょう観光協会、小豆島町観光協議会、朝日新聞高松総局、産経新聞社高松支局、
山陽新聞社、四国新聞社、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、OHK岡山放送、
KBN香川テレビ放送網株式会社、CMSケーブルメディア四国、RSK山陽放送、
KSB瀬戸内海放送、CVC中讃テレビ、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、FM香川、
FM815、香川こまち、高松リビング新聞社、ナイスタウン出版
協力 肥土山自治会、肥土山農村歌舞伎保存会、NPO法人Totie

かがわ文化芸術祭2017 参加公演・行事

チケット販売

前売・当日 5,500円 / 小豆島・豊島 島民チケット 3,000円
※高校生以下無料(小学生以下は保護者要同伴) ※予定枚数に達した場合は当日券の販売無
※島内チケットは購入時ならびに入場時に在住している証明書類等要提示。前売りチケット販売は島
内店舗での販売のみ。 ※主催者による中止の場合以外の払い戻しは致しません

[チケットご購入方法]

- ①WEB サイト<<http://www.kazefuki.com/>>より購入ページへ
 - ②メールオーダー<ticket@kazefuki.com>へ
氏名、ご住所、TEL、チケット種別、枚数をお書きの上メール送付
 - ③チケット取扱店舗
- | | |
|------------|--|
| [小豆島/土庄町] | 土庄町立中央公民館、土庄町総合会館（フレトピアホール）、
エスポアおもり、MeiPAM（島モノ家）、pensee、Blue Beat Bland cafe
HOMEMAKERS、ミナウタリ |
| [小豆島/小豆島町] | うすけはれ、UCHINKU、うみねこかしや、カレープラーージュ、
珈琲とブーケ、瀬戸よ志、タコのまくら、Today Is The Day、NPO法人Totie
ポンカフェ |
| [豊島] | 海のレストラン、豊島ゲストハウスmamma |
| [直島] | アカイトコーヒー、直島カフェ コンニチハ、向島集会所 |
| [高松] | Kinco.、Cafe & Live Space SPEAK LOW、BOOK MARUTE |
| [男木島] | ダモンテ商会 |

<本リリースに関するお問い合わせ先>

風が吹いてきたよ実行委員会（担当：大塚）
〒761-4431 香川県小豆郡小豆島町片城29-18
E-mail : info@kazefuki.com
TEL : 090-9329-4424

出演アーティスト



高木正勝×渡辺亮

[高木正勝／音楽家・映像作家]

京都出身、現在兵庫県山深い谷間にて生活する。長く親しんでいるピアノを用いた音楽、世界を旅しながら撮影した“動く絵画”と評される映像、両方を手掛けるアーティスト。2009年Newsweek日本版で、「世界が尊敬する日本人100人」の1人に選ばれるなど世界的に注目を集める。

細田守監督の映画「おおかみこどもの雨と雪」「バケモノの子」、スタジオジブリを描いた「夢と狂気の王国」の音楽を手掛ける。2016年3月に『山咲み(DVD+2CD)』と、2010年のピアノソロツアーを収めたアルバム『YMENE』を同時リリース。

<http://www.takagimasakatsu.com/>

[渡辺 亮／パーカッショニスト]

音楽に色彩と空間を与えるパーカッショニストとして、EPO、ショーロ・クラブなど、数多くのアーティストと共演、レコーディングに参加。

青山こどもの城の講師を経て、鼓童アースセレブレーション、いわき芸術交流館アリオスなど、全国でパーカッションのワークショップを行っている。

ソロ・アルバムに「ウォレス・ライン」「モルフォ」。著書に「レッツ・プレイ・サンバ」（音楽之友社）。自己の活動として「妖精・妖怪譚」「美術と音楽」がある。

武蔵野美術大学卒業、東京学芸大学非常勤講師

<http://www.ryo-watanabe.com/>



伊藤君子

香川県小豆島生まれ。

これまで17枚のアルバムを発売、数々の受賞歴に輝く日本を代表するジャズ・シンガー。活動の場は日本にとどまらず海外にも及ぶ。1989年にはソニー・ミュージックから発売されたアルバムがアメリカの「ラジオ&レコード誌」で16位にチャートインするという日本人初の快挙を成し遂げている。1997年には小曾根真とのデュオでスイス・モントルーの「モントルー・ジャズ・フェスティバル」に出演（ライブ録音盤が発売中）、2010年には、パリ、ローマ、セネガルで公演、その他にもヨーロッパ、アジア諸国で公演を行っている。

最新アルバムは2017年5月に日本コロムビアより発売された「Kimiko Itoh sings HIBARI～伊藤君子、ひばりを歌う」。

<http://www.kimikoitoh.com/>



切腹ピストルズ (from ART SETOUCHI 2017)

「日本を江戸にせよ！」を合言葉に、野良着で暮らしながら、和楽器による演奏を全国各地で繰り広げる。西暦1999年大晦日に東京で始動、現在日本各地に隊員10名程度で編成。和太鼓の演奏、WEB上での音楽配信、寺子屋の実施、落語の会の主催などを行っている。瀬戸内国際芸術祭2016参加。

撮影：宮脇慎太郎



アラゲホンジ

2007年、秋田県湯沢市出身のソングライター 齋藤真文を中心に結成。東北地方をはじめ日本各地の民謡や伝統リズムと、汎ブラック・ミュージックの融合を柱に置き、「秋田音頭」「相馬盆唄」「リンゴ追分」などのカバー曲にも独自のアップデートを加えて提示する。

2010年には“FUJI ROCK FESTIVAL ROOKIE A GO-GO”に出演し、以降“SUKIYAKI MEETS THE WORLD”“橋の下世界音楽祭”など、全国各地の音楽フェスに参加。2013年の2ndアルバム「たからかぜ」発売時には、新聞・雑誌・ラジオなど多くのメディアから注目された。

2016年9月7日、3rdアルバム「はなつおと」をリリース。さらなる洗練と進化を遂げたサウンドが話題を呼んでいる。

公式HP aragehonzi.com

Twitter twitter.com/aragehonzi_info

Facebook facebook.com/aragehonzi



カルマン

誰もがその音色の虜になってしまう中世ヨーロッパの楽器ハンマーダルシマー、モンゴルの大草原に一瞬で誘われるような馬頭琴と喉歌ホーミーの響き、そしてアイルランドの太鼓バウロン。モンゴルやアイルランドの伝統音楽をベースに新たなアイデアや実験を加え个性的かつ普遍的音楽を目指す。最新作は、2016年6月に小豆島に滞在し、島の各所でフィールドレコーディングを行った「小豆島から」。

<http://hamautaproject.wixsite.com/karman>



梵音遊行(高野山金剛流御詠歌)

宗教音楽のひとつである高野山金剛流御詠歌。そして、その詠歌道を志す全国の真言宗僧侶で構成されているのが「高野山金剛流合唱団」である。「梵音遊行」とはその中でも四国の団員のみで構成されたユニット。今回は、島の御詠歌メンバーとの特別公演。

前回会場風景と来場者ご感想



数日経って、日常に戻った今もまだドキドキしている。あの肥土山の歌舞伎舞台での『風が吹いてきたよ』のお祭りは本当に夢のような一日だった。みんな飛行機、バス、フェリーと乗り継いでどれだけワクワクしながらやってきたことだろう。辿り着いたあの場所が期待以上の素晴らしい環境で一気に惹き込まれた。

小豆島 肥土山農村歌舞伎舞台で行われた 風が吹いてきたよ 素晴らしい企画でした。全てがバランスよく心地よく楽しく詰まっていた。音楽 景色 空気 人々 子供からお年寄りまで皆の笑顔。
農村歌舞伎舞台 天気の良い日 餅つき ラジオ体操 ほんとに全てのバランスが心地よかった。

この日一日だけでも、「過疎化」ということばが嘘のような、老若男女、あらゆるひとたちの笑顔が見られる空間で、ずっと開催してくれることを切に願います。